

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者支援計画策定事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	豊田 武彦			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	高齢者	意図	計画策定により、各施策、事業の計画的且つ効率的な執行を図る。
事業内容	高齢者支援計画（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）を策定する。策定に際しては高齢者等の実態調査や市民説明会による市民等からの意見、審議会からの諮問・答申の結果を反映させる。			
事業開始から現在までの状況変化	計画期間 平成30年度～平成32年度 策定年度 平成28年度～平成29年度（継続費設定）			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	審議会審議回数	8	4	7	回	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度に高齢者等実態調査・介護保険と高齢者福祉に関するアンケート実施結果を持って、福祉施策審議会に諮問し、答申を得て、計画の策定に反映した。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,506,000	4,111,500	3,701,424				
事業費(b)(円)			2,052,000	1,687,824				
うち一般財源			2,052,000	1,687,824				
職員給与費(c)(円)		1,506,000	2,059,500	2,013,600				
人役・職員(人)		0.20	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	審議期間が短期間であったが、事前に資料を送付して質疑を徴収するなどし、審議時間を十分に確保するようにした。	③取組の課題	多くの方々からの意見を集約する必要があることから、計画的に業務を遂行する必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	高齢者支援計画、障害福祉計画、障害児福祉計画を策定した。	④今後(H30以降)の改善計画	計画策定にあたっては、計画策定がスムーズに行えるようスケジュール管理を行っていく。